

加美町 地域おこし協力隊



VOL.16



加美町ふるさとの味

日時：令和5年12月13日(水)
場所：Creative Hub 加美
担当：稲葉・佐藤・高橋・玉手・千葉・宮越

昨年の秋まつりで開催された「食の文化祭」。レシピの展示を見た隊員たちから「加美町で普段から食べられている味を知りたい!」という声があがり、「みやざきどどんこ館」の会員の皆さんご指導のもと、地元料理と一緒に作りました。



どどんこ館内にある「餅処おたき」のつきたてお餅を皆でちぎってお雑煮へ♪



稲葉隊員

私の地元のお雑煮とは食材も切り方も異なっていて、食文化の違いを感じることができ楽しかったです。菊の花を和え物にして食べるというのも初めての体験でした。

宮越隊員

野菜を干したり花びらを冷凍保存したりと、食材の仕込みにもすごい手間がかかっていてびっくりしました。料理も漬け物も美味しかったです!

高橋隊員

地元料理を食べたことはあっても自分で作ったことが無かったので、勉強になりました。料理中も食事中も色々なお話ができ楽しかったです。ぜひ2回目の開催を!



～献立～

- お雑煮 ○菊の花とほうれん草の和え物
- 里芋の煮っころがし
- ★りんご ★お漬物



皆様ありがとうございました!

突撃!

地域おこし協力隊 part 2

加美町の協力隊って普段どんなことをしているの?という疑問にお応えするこのコーナー。まずは、学校魅力化を推進する2名の委託型隊員をご紹介します。

①株式会社FoundingBaseはどんな会社?

まちづくりに取り組む「地域共創」ベンチャー企業です。事業活動を通じて提供したい価値は、「地域の価値を共創し、地域という選択肢を提供する。」ということ。まちづくりを母体に①観光、②スペース事業、③道の駅、④ふるさと納税、⑤ツアー事業、⑥シティプロモーション、⑦教育といった幅広い事業に取り組んでおります。私達2人は教育担当として加美町に配属されました。

②どんな仕事をしていますか?

林隊員: 主な仕事は2つあります。1つ目は中新田高校の生徒募集のサポートです。全国募集のサポートはもちろん、地元の中学生にも魅力を伝えるため中学生向けに地域創造学の模擬授業を実施しました。2つ目は中新田高校での探究活動のサポートです。地域創造学のカリキュラム作成や運営に関わり、また渉外担当として授業のサポートを行っています。

濱本隊員: 主に裏方としてコーディネート役に徹しています。町が目指す教育の方向性を、町の教育に携わる方々と擦り合わせ、小中高一貫した右肩上がりの教育を実現させるための活動をしています。また、昨年度は鳴峰中学校への統合に向けて生徒たちの不安を取り除くためのサポートも行っていました。



③やりがいを感じるのはいつ?

林隊員: 将来の選択肢を増やすことはどこの国の子どもにとっても必要なことだと思っていて、その選択肢を増やすためのきっかけになるようなコンテンツ作りを前線で担えることにやりがいを感じています。

濱本隊員: 生徒達には地元で愛着を持ってもらった上で、地元に残るのか、町外に出て行くのかを選択できるようにって欲しいと思っています。生徒たちが町外から受けた刺激を、地元の良さを残しつつ発揮していくことを期待し、いつか実行に移していく姿を見られることにやりがいを感じています。

所属: 株式会社FoundingBase



はまもと たく
濱本 拓 隊員

はやし こなつ
林 来夏 隊員

④生徒とはどのようにコミュニケーションをとっていますか?

林隊員: 生徒と同じ目線に立ち、フラットな関係を築けるようなコミュニケーションを心掛けています。

濱本隊員: 積極的に生徒に話しかけるだけでなく、土日の部活動にも参加してコミュニケーションを取りました。総合探究部の活動では、地元の企業とコラボしたものづくりのサポートも行いました。

⑤3年間の任期中に成果を出すのは難しいと思いますが、モチベーションを保つ秘訣は?

林隊員: 美味しいものを食べる事です。

濱本隊員: 加美町には素敵な生徒が多く、そんな生徒達に関われることがモチベーションになっています。ただ、教育の成果を見るには、3年間では全然足りないとも思っています。

⑥加美町のお気に入りスポットは?

林隊員: 人がいっぱい集まっている時の自宅と鳴瀬川です。海が恋しくなった時に鳴瀬川を見に行くと落ち着きます。

濱本隊員: 生徒も先生も大好きな人達が集まっている鳴峰中学校です。



以上、林隊員・濱本隊員へのインタビューでした!

続いて、農業の振興（花苗の栽培・マーケティング）に取り組む隊員をご紹介します。

①どんな仕事をしていますか？

発芽した状態の苗を仕入れ、花が咲いた状態に成長させて出荷しています。出荷時期も決まっており、良い状態で出荷できるように温度の異なるハウスへ移動させるなど成長速度の調整をしながら生育を行っています。

②ルーティーンの作業はありますか？

寒い時期以外は、まず朝にハウスのドアを開けて風を通します。水やりは毎日行いますが、ハウスが大小合わせて18棟あるのと、水やりの方法もコツがあるので、思っているより時間がかかります。ほかの作業はそれぞれの花の生育状況に合わせて行っています。

③一番忙しい時期はいつですか？

春～夏ですね。夏は暑さで水やりの回数も増えるのですが、多いときは1日3回行う場合もあります。同時に秋に咲く花の準備も始めなくてはならないので、時間が足りないくらい忙しいです。



④やりがいを感じるのはいつ？

作業時期が少しでもズレてしまうと出荷時の花の状態も変わってしまうのですが、どこから見ても完璧な状態で花を出荷できると感動します。

受け入れ先：株式会社宮城フラワーパートナーズ



たかはし まさと
高橋 真人 隊員

⑤今力を入れていることは？

温度や日光量など少しの違いで成長するスピードが速くなったり遅くなったりするので、一番良い状態で出荷するために成長のタイミングを記録しています。花の生育状態がデータとして誰にでもわかるようになる状態にできたらと思っています。

⑥これからどんなことをしていきたい？

まだ自分がメインで花を育てたことがないので、今後出荷まで生育のコントロールができるようになって「自分が育てた花です！」と言えるものを作ることができたら嬉しいです。

⑦加美町のお気に入りのスポットは？

夜の二ツ石ダムです。隣も見えないくらい真っ暗な中、星だけが見える光景に驚きました。



以上、高橋隊員へのインタビューでした！

現在、加美町では12名の隊員が「加美町を元気にしたい！」と活動中です。町で見かけた際には、ぜひ気軽にお声がけください！

協力隊からのお知らせ



空き家のお困りごとは
「加美町空き家バンク」へ



空き家バンクとは、町のホームページ上に空き家物件情報を掲載し、「空き家を売りたい・貸したい」と考えている所有者（管理者）と「空き家を利用したい」という希望者との橋渡しをするものです。「空き家を持っているけどどうすればよいか分からない」「将来空き家の所有者になる可能性がある」という方はぜひご相談ください。



加美町空き家バンク運営業務受託事業者

リロカリコクリ株式会社 050-1379-7343

加美町空き家バンクHP

地域おこし協力隊活動報告会を
開催します！！

加美町では毎年、地域おこし協力隊の活動報告会を開催しています。私たち協力隊が、何を感じ、どのように活動してきたのかを発表する場になっています。どなたでも来場可能ですので、ぜひお越しください。

日時：3月3日（日）13時～15時

場所：やくらい文化センター 小ホール



スノーファンタジー@やくらい2024



やくらいの冬を楽しむ「スノーファンタジー」が今年も開催されました！雪遊びや夜の打ち上げ花火など内容盛りだくさんの中、高澤隊員は竹あかりのコーナーを担当。イベントを一緒に盛り上げました！

日時：令和6年1月27日(土)
場所：やくらいリゾート
担当：尾形・高澤・宮越



高澤隊員

雪の無いイベントになるのかなと心配していましたが、奇跡的に雪が降り積もり各コーナーが無事開催されました。美味しい飲食店もたくさん出店されていて、楽しいイベントになりました。

尾形隊員

観光協会として運営に従事しましたが、今年は雪がない！雪ありきのコーナーが一部中止になり、イベントが盛り上がるのか不安でした。しかし、いざイベントが始まると家族連れの方が続々と集まり、雪遊びコーナーは大盛況でした。来年の開催も楽しみです。

移住体験交流会in旭

加美町では移住に興味がある方を対象に様々なイベントを企画しています。そのうちの一つである移住体験交流会が2月に旭地区で開催されました。雪が少ない影響で、残念ながら予定していた雪遊びはできませんでしたが、雪遊びに負けないくらい楽しい内容が盛りだくさんで、旭地区を大満喫できるイベントとなりました。

日時：令和6年2月3日(土)
場所：旭地区地域づくりセンター
担当：稲葉・今野・尾形・高澤・高橋・林・宮越



旭産のもち米でお餅つき。みんなでついたお餅美味しかったです！



名人に教えてもらって縄ない体験！オリジナルの鍋敷きを作りました。



加美町地域おこし協力隊Instagram
kamichioko

加美町役場公式HP



★地域おこし協力隊とは？★

地域おこし協力隊は、人口減少や高齢化等の進行が著しい地方において、都市部の意欲ある若者を積極的に受入れ、その定住・定着を図ることで、地域力の維持・強化を図っていくことを目的とする取組です。

加美町では、平成22年度よりこの事業に取り組んでおり、地域への定住定着を図っています。

【発行元】

加美町地域おこし協力隊瓦版
〒981-4252 加美町字西田三番5番地
ひと・しごと推進課 TEL:0229-63-5611
制作・編集 地域おこし協力隊 稲葉